

今週の

いきもの広場

① アカスジキンカメの幼虫



成虫

幼虫は樹皮のすきまなどで越冬し、春に見られるようになります。成虫は鮮やかな赤いラインの入った緑色の体を持ちます。

② ミツボシキリガの幼虫



巣

エノキを葉を半分に折りたたんで巣を作り、中から葉を食べながら成長します。

③ コクワガタの幼虫



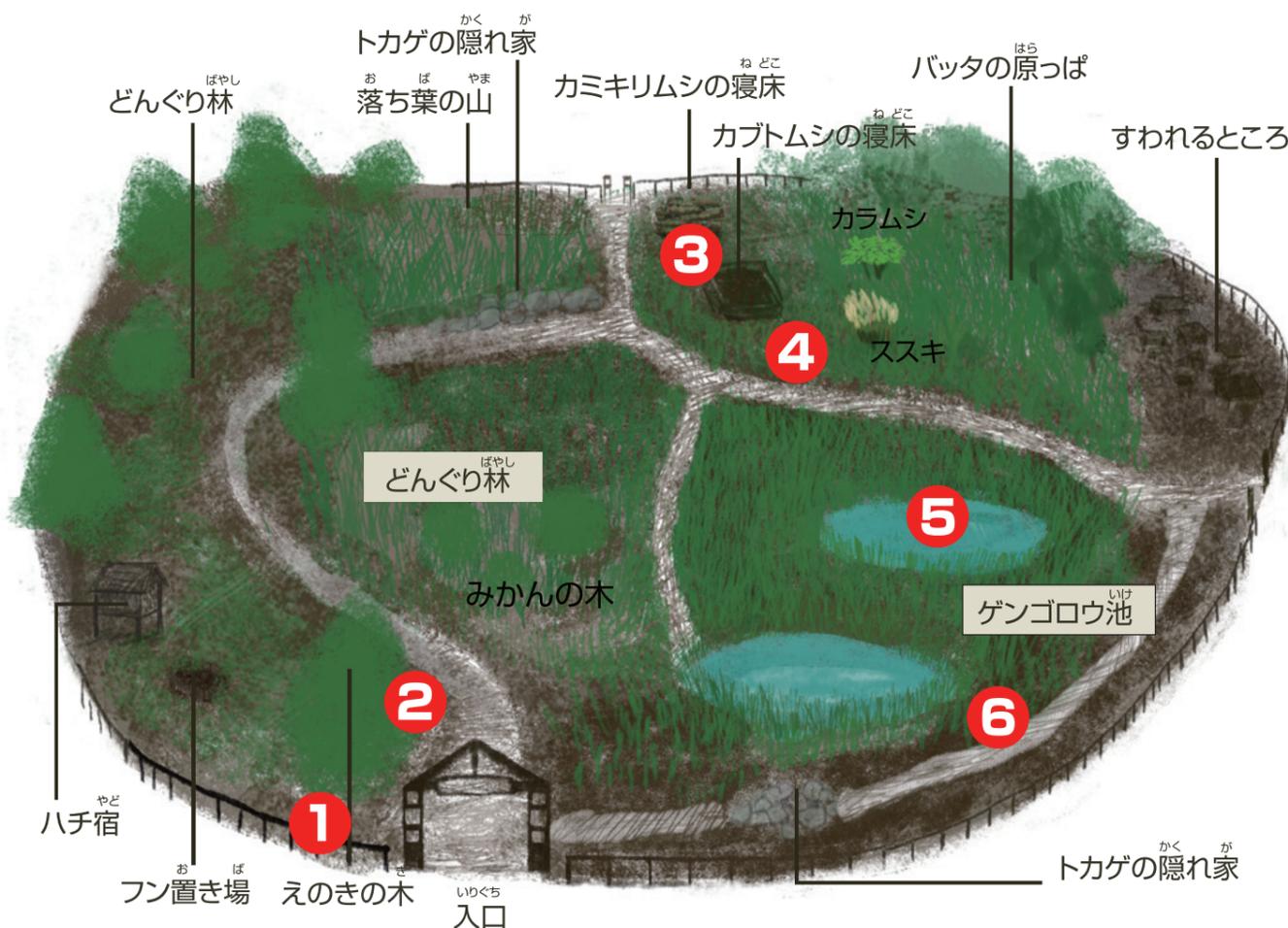
朽ち木を食べて成長します。スポンジのように柔らかい朽ち木の中には、コクワガタを始め、様々ないきものが暮らしています。

④ ヒガシニホントカゲ



寒い時期は、地中でじっとしているトカゲですが、気温が上がってくると、日当たりの良い石の上などに出て体を温めています。

いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さな仕掛けがたくさんあります。4月になり、長い冬を越したいきものたちが動き始め、広場はにぎやかになってきました。



⑥ クヌギカメムシの幼虫



1 齢幼虫

4月初旬、生まれたての1 齢幼虫は赤色の体をしていましたが、現在は成長し、体は緑色です。まだ幼虫のため、羽はありません。

⑤ アズマヒキガエルのオタマジャクシ



3月23日に池で卵が見つかった後、2週間後の4月7日からはオタマジャクシが見られるようになりました。



活動日以外は池を網でおおっています
広場の池のオタマジャクシは、そのままと野生のカモに食べられてしまいます。上陸するまでの約1ヶ月、活動時間以外は網でおおっています。